

令和5年2月10日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館ニューズレター

No. 299(2023年2月)

■令和四年度第51回大谷竹次郎賞授賞式が開催されました

1月18日(水)、新作歌舞伎の優れた脚本に贈られる「大谷竹次郎賞」の令和四年度第51回授賞式が、松竹本社にて開催されました。この二年間は受賞がなく、令和元年度以来、三年ぶりの授賞式となりました。

授賞式では、受賞作『赤穂義士外伝の内 荒川十太夫』の脚本を担当した竹柴潤一氏へ、当館より副賞として記念レリーフを贈呈いたしました。このレリーフは長年、大谷竹次郎賞記念レリーフを制作していただき、昨年3月1日に亡くなられた故・



大谷竹次郎賞副賞レリーフ

荒川明照先生作の陶製のお皿をご息女の浅川様より譲り受け、鑄造所に遺された先生作の型から新たに鑄造の鳳凰を取り付けたものです。これまでにない黒色を基調とした趣のあるレリーフは、受賞作『荒川十太夫』のイメージにもピッタリで、潤一氏にも大変喜んでいただきました。

今回、初の大谷竹次郎賞本賞受賞となった狂言作者の竹柴潤一氏ですが、令和元年度第48回大谷竹次郎賞『本朝白雪姫譚話』(令和元年12月歌舞伎座公演)において、奨励賞を受賞しています。

受賞の言葉では、狂言作者としてこの世界に入った当時、十八代目中村勘三郎丈から「君ね、ホン(脚本)が書けるようになりなさいよ!」と声をかけられたというエピソードを明か



左より 尾上松緑丈、竹柴潤一氏

し、「今回の受賞で、少しは中村屋さんに恩返しのできたのかな。まずはご報告ができるようになったのかなと思っております」と、喜びを語りました。

次に、主演をつとめた尾上松緑丈より「カンパニーが一丸となり、皆が同じ方向を目指すことができたことが、潤一君が賞をもらって、お客様に喜んでもらえたことにつながったのだと思っております」と祝辞をいただきました。会場からは、潤一氏と松緑丈へあたたかい祝福の言葉が贈られ、本作の再演を望む声も多く上がりました。松緑丈は、「コロナ禍の今のようになが疲弊している時には、ちょっとほっこりするような、そういうものをお客様も求めているんじゃないかな、という風に思います」と、作品が高く評価されたことへの喜びも語っていただきました。

最後には、「これを糧に、これからも真山青果作品や岡本綺堂作品の系譜に通じるような、古典に準じたものを作りたい。そのためにも、潤一君にもまた力を貸していただかなければいけないと思います」と、潤一氏に厚い信頼を寄せている様子で次回作への意欲をみせ、潤一氏も、「狂言作者として、また一つ階段をのぼらせていただきました。皆様のお力をお借りして、相談しながらまた次の作品へ繋げていければ」と、今後の作品づくりの抱負を語り、和やかな雰囲気の中、授賞式は終了しました。

▼大谷竹次郎賞については、当館HPで詳しくご覧いただけます
<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/summary/about.html>

「大谷竹次郎賞歴代受賞一覧(PDF)」も掲載しております

目次:

令和四年度第51回大谷竹次郎賞授賞式が開催されました	1
第11弾クラウドファンディング『鏡獅子』4Kデジタル修復プロジェクトが完了しました	2-3
第95回所蔵資料ミニ展示「黙阿弥尽くし! —河竹黙阿弥没後130年—」資料紹介	3
所蔵資料紹介 —[2]五世中村富十郎寄贈『船弁慶』台本—	4
【音貞アルバム】紹介動画がYouTubeで公開されました	4
資料提供	4
新着資料案内	5
新規登録資料案内	5
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	6
松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	6
休館のお知らせ	6
利用案内	6

■第11弾クラウドファンディング『鏡獅子』4Kデジタル修復プロジェクトが完了しました

昨年実行したクラウドファンディングの歌舞伎記録映画『鏡獅子』の4Kデジタル修復が完了しましたことをご報告いたします。初号試写を経て完成した『鏡獅子』4Kデジタル修復版の原版(4KDSM=4Kデジタルソースマスター)から、上映用の4KDCP(4Kデジタルシネマパッケージ)や、放送用や配信用などホームエンタテインメント用の各種メディアが作成され、1月末に株式会社松竹映像センターより当館へ納品されました。



LTOテープ正副2台

上の写真は、スキャンデータ(映像、音声)と4Kデジタル修復版の原版(4KDSM=4Kデジタルソースマスター)が格納されたLTOテープ正副2台です。LTOテープは大容量で長期保存が出来る磁気テープの記憶メディアです。



(左)確認用のDVDとBDR (右)HDD

上の写真のうち左は、無字幕版と英語字幕版の確認用のDVDとBDRで、右は海外用データ2種(4K ProRes4444XQ/英語字幕版HD ProRes422HQ)、ホームエンタテインメント用データ2種(4K ProRes422HQ/HD ProRes422HQ)やmp4データ、字幕翻訳データなどが格納されたHDDです。今回納品されたホームエンタテインメント用のデータは、日本語字幕版については字幕が付いた映像データではなく、字幕翻訳データを納品していただきました。

右段上の写真は、映画館上映用の4KDCP(4Kデジタルシネマパッケージ)が格納されたSSD2台です。映写する映像の大きさを確認するための「フレームチャート」と、『鏡獅子』の無字幕版、日本語字幕版、英語字幕版が格納されています。

今回の4Kデジタル修復版では、特に海外での上映を視野に入れ、英語字幕版の制作に力を入れました。英語字幕の監修

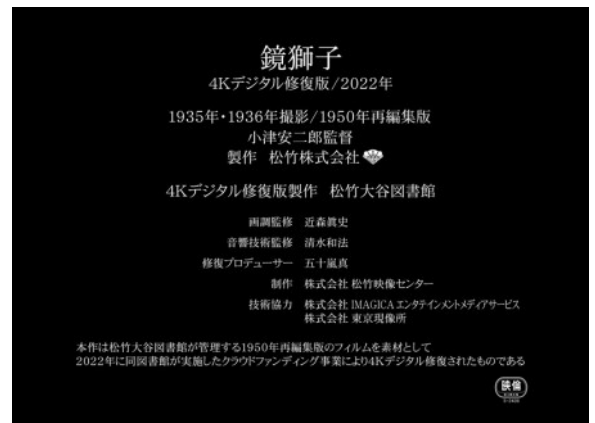


4KDCPが格納されたSSD2台

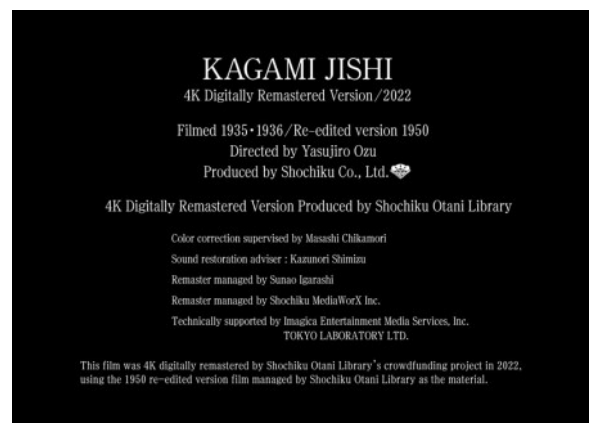
は、イヤホンガイドの英語版 翻訳やナレーション、シネマ歌舞伎の英語字幕などを担当されているポール・グリフィス氏にお願いしました。字幕の表示に 字数の制限がある中、ナレーション部分は、昭和25年頃の、ちょっと古い日本語の言い回しを分かりやすく英語にして頂き、また、詞章(歌詞)の部分は、叙景の表現や、古い日本語の表現なども、とても丁寧に意味が伝わるように英語に翻訳して頂きました。

日本語字幕版では、昭和25年の再編集時に付け加えられたナレーションの台本の漢字表記や旧仮名遣いを、文章自体には手を加えずに、表記について一字一句細かく見直しを行い、古い漢字表記や旧仮名遣いなどを現代の字幕ルールに則ってひらがなにしたり常用漢字を置き換えたりするなどの変更を行い、現代の観客に通じる日本語字幕に仕上げました。

上映用の4Kデジタルシネマパッケージ(4KDCP)には冒頭に4Kデジタル修復版のクレジット(先付タイトル)が付いています。



無字幕版、日本語字幕版のクレジット



英語字幕版のクレジット

クレジットの最後には、「本作は松竹大谷図書館が管理する1950年再編集版のフィルムを素材として 2022年に同図書館が実施したクラウドファンディング事業により4Kデジタル修復されたものである」と4Kデジタル修復版が、この第11弾クラウドファンディングにご支援ご協力いただいた皆さまのお力添えにより完成した事を説明しています。

また、4Kデジタル修復作業に参加していただいた、近森真史氏(画調監修)、清水和法氏(音響技術監修)、五十嵐真氏(修復プロデューサー)のお名前や、新着情報でもご紹介した株式会社松竹映像センター、株式会社IMAGICA エンタテインメントメディアサービス、株式会社東京現像所の社名も掲載させていただきましたが、そのほかにも多くの方々のご協力を得て、この4Kデジタル修復版を完成させる事が出来ました。

クレジットの文章は約8秒間映りますので、いずれ劇場で公開された時にはぜひ一番下の文章にもご注目下さい。

第11弾クラウドファンディング『鏡獅子』4Kデジタル修復に関するプロジェクトは今回の成果物納品でひとまず完了となりますが、これからこのプロジェクトで出来上がった『鏡獅子』4Kデジタル修復版を出来るだけ多くの方に見ていただけるよう、成果物の活用に頑張ってまいります！今後の『鏡獅子』4Kデジタル修復版の上映や放送につきましては現在のところ未定ですが、本年は「小津安二郎生誕120年記念企画」でさまざまなイベントや展示なども予定されておりますので、ぜひご期待いただければと思います。

■第95回所蔵資料ミニ展示「黙阿弥尽くし！—河竹黙阿弥没後130年—」資料紹介

当館では現在、閲覧室ミニ展示「黙阿弥尽くし！—河竹黙阿弥没後130年—」を開催中です。本日は展示資料のなかから、黙阿弥作品の組上燈籠絵をご紹介します。



歌舞伎座浄瑠璃奴風組上

こちらは、明治26[1893]年1月歌舞伎座初演『奴風廓春風』の組上燈籠絵の完成形です。展示ケース横のカード目録ボックスの上に展示しています。



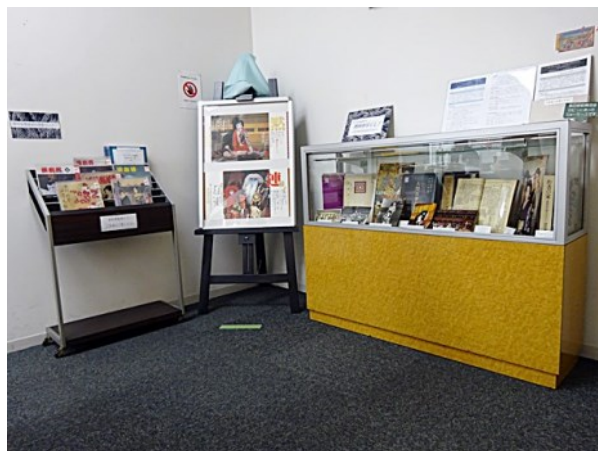
『奴風廓春風』は、正月の風物「奴風」を、正月芝居恒例「曾我もの」の趣向で魅せる華やかな舞踊劇です。五代目尾上菊五郎による奴風の宙乗りが見どころで、河竹黙阿弥絶筆となった作品です。

組上燈籠絵とは、江戸期から昭和期まで広く流行した錦絵の一種で、部品を切り出して立体に組み立てて遊ぶことができる現代のペーパークラフトのようなものです。当館では明治から大正期の歌舞伎に関する組上燈籠絵を161枚所蔵しており、平成28[2016]年に実施されたクラウドファンディングプロジェクトによってデジタルアーカイブ化されています。もちろんこちらの作品も、当館ホームページの「組上燈籠絵検索閲覧システム」から、印刷して組み立てて遊ぶことができますので、ご興味のある方はぜひ挑戦してみてください！

▽「組上燈籠絵検索閲覧システム」はこちら

https://www.dh-jac.net/db/nishikie/search_shochiku.php

また、展示スペースでは平成4[1992]年2、3月歌舞伎座公演「河竹黙阿弥没後百年記念 黙阿弥祭」の希少な資料「電車の中吊り広告ポスター」を飾っている他、公演プログラム、黙阿弥関連雑誌を閲覧できるコーナーなども設置し、「黙阿弥尽くし」でお待ちしております。ぜひお気軽にご来館ください。



閲覧室ミニ展示「黙阿弥尽くし！—河竹黙阿弥没後130年—」

展示期間:2023年1/11(水)~3/1(水)／時間: 平日10時~17時／休館日: 土日祝日、毎月最終木曜日／展示場所: 松竹大谷図書館 閲覧室

※現在、展示は予約なしでご覧いただけます。

松竹大谷図書館 Tel 03-5550-1694(平日:10時より17時)

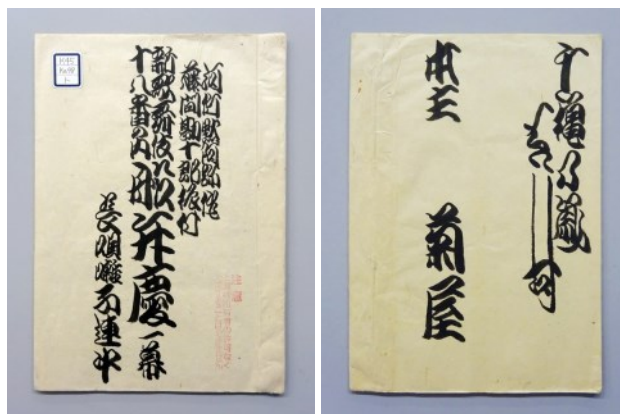
<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

■所蔵資料紹介 —[2]五世中村富十郎寄贈『船弁慶』台本—

松竹大谷図書館の所蔵資料を写真と共にご紹介するコーナーの2回目は、五世中村富十郎寄贈の『船弁慶』台本です。

中村富十郎丈は、平成7[1995]年4月より平成23[2011]年1月3日に逝去されるまで当館の評議員を勤められ、多忙な舞台出演の合間にも会議に出席されるなど、当館の活動にご尽力いただきました。またご自身の調べ物で来館されることもよくあり、平成17[2005]年には、歌舞伎・新派台本や図書など約370点もの資料をご寄贈いただきました。今回ご紹介する『船弁慶』の台本も、その寄贈資料のうちの一冊です。

毛筆手書のこの台本は、上演年月は記されていませんが、裏表紙に「本主菊屋」とあります。「菊屋」は五世富十郎が六世市村竹之丞を名乗っていた時期(1964.4-1972.8)の屋号です。五世富十郎が初めて静御前と平知盛の霊を勤めたのは六世市村竹之丞時代で、二度演じています。昭和40[1965]年秋に「松竹花形大歌舞伎」として九州へ巡業した時に初めて静御前と平知盛の霊を勤め、そしてその翌年昭和41[1966]年の東横ホール「歌舞伎新派花形合同四月公演」で、本興行で初めて勤めました。当時の東横ホールの筋書には、竹之丞が東京では初めて『船弁慶』に取り組むこと、既に九州方面の興行で演じた経験があることが記されています。このことからこの台本は、この2つのいずれかの公演の際に作られた台本であると推測されます。



(右)に竹之丞時代の屋号「菊屋」がある裏表紙

今月の歌舞伎座では「五世中村富十郎十三回忌追善狂言」として、長男の中村鷹之資丈が『船弁慶』の静御前と平知盛の霊を本興行で初めて勤めることが話題を呼んでいます。鷹之資丈も昨年2022年の自主公演「翔之會」で初めて静御前と平知盛の霊に取り組み、それに続く今月の歌舞伎座で本興行での初主演となります。

当館HPの「資料検索」にて「中村富十郎 - 5世書込本」をフリーワードに入力して検索すると、五世富十郎の寄贈台本がヒットしますので、興味をお持ちの方は検索をお試し下さい。

▽当館の「資料検索」はこちら

<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

■【音貞アルバム】紹介動画がYouTubeで公開されました

当館が2018年秋に実行した【第7弾】クラウドファンディングのご支援でデジタル化を行った「川上音二郎・貞奴一座欧米公演関係資料アルバム(通称【音貞アルバム】)」を紹介する動画がYouTubeで公開されました(<https://youtu.be/Afl1DRmciyA>)。

これは、昨年2022年11月20日に茅ヶ崎市立図書館で開催された『音貞アルバム』を紐解く講演会を収録したものです。音貞アルバムは、2011年に茅ヶ崎市美術館「音二郎没後100年・貞奴生誕140年記念 川上音二郎・貞奴展」で展示されましたが、その際茅ヶ崎市美術館の小川稔館長にアルバムを詳細に調査して頂きました。

小川館長による今回の講演会は、音二郎・貞奴夫妻の欧米公演前夜のエピソードから2度の欧米公演の帰国後に居を構えた神奈川県茅ヶ崎市までの足跡を辿って「追体験」できるような

楽しい内容で、「音貞アルバム」の資料を当館のデジタルアーカイブからご紹介いただいております。



動画より小川館長(左)と当館司書武藤(右)

講演の冒頭には、昨年久しぶりにご来館いただいた小川館長に、司書の武藤祥子が補修後のアルバム原本をご紹介しながら、アルバムを調査した当時のエピソードなどをお話しいただいて収録した動画もご覧いただけますので、そちらも合わせてお楽しみ下さい。

▼「音貞アルバム」デジタル画像はこちら

《松竹大谷図書館特別資料閲覧システム》

https://www.dh-jac.net/db1/resource/search_sol.php

資料提供 (2022年5月～2023年1月)

※許可を得た方のみ掲載しております

【出版】村島彩加『舞台の面影 演劇写真と役者・写真師』2022年5月31日森話社 戦前の歌舞伎プロマイドを提供／『歌舞伎特選DVDコレクション第87号』2022年12月14日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「車引の押隈」を提供／「十手舞DVD」「五匹の紳士DVD」2022年12月21日松竹株式会社 ポスターをDVDのパッケージに提供／『歌舞伎特選DVDコレクション第89号』2023年1月11日アシェット・コレクションズ・ジャパン 図書『三代の名優』より歌舞伎俳優写真を提供・マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に図書『歌舞伎衣裳附帳』を提供

【放送】ドキュメンタリードラマ郷土の偉人シリーズ第30作『名優 笠智衆 春風のあるがごとし』2023年1月22日テレビ熊本 映画台本『麥秋』を参考として提供

【上映】2022音貞オッペケ祭「音貞アルバム」を紐解く講演会 2022年11月20日茅ヶ崎市立図書館(配信あり) 『川上音二郎・貞奴一座欧米公演関係資料アルバム』を提供

【その他】「月イチ歌舞伎2023前売り券(ムビチケカード)」2023年1月6日松竹株式会社 昭和26年歌舞伎座切符半券を参考として提供

新着資料案内 (ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系1月演劇公演資料		○ … 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『卯春歌舞伎草紙』	○	○		
	『弁天娘女男白浪』	○	○		
	『壽恵方首我』	○	○	○	○
	『人間万事金世中』	○	○		
	『花街模様藍色縫 十六夜清心』	○	○		
新橋演舞場	『SANEMORI』	○		○	○
浅草公会堂	『双蝶々曲輪日記 引窓』	○			
	『男女道成寺』	○		○	○
	『傾城反魂香』	○			
	『連獅子』	○			
南座	『裏町の友情』	○		○	
	『流れ星ひとつ』	○			
	『喜劇老後の資金がありません』	○		○	○
松竹座	『幽玄』			○	

◆他社演劇公演資料 (2022年11月-2023年1月) (順不同) serial number 『瘦せた背中』スペースエッジプログラム/神里雄大岡崎藝術座 『イミグレ怪談』東京芸術劇場シアターイーストプログラム/役者の落語会「ごらく亭」 『人生悲喜劇案内』下北沢小劇場楽園プログラム/ブス会 『The VOICE』遊空間がざびいプログラム/ ONEORS 『千一夜』シアタートップスプログラム/劇団600歳の会 『迷惑な季節』ザ・スズナリプログラム/KAAT×城山羊の会 『温暖化の秋』神奈川芸術劇場大スタジオプログラム/JACROW 『キョウカイセン』下北沢駅前劇場プログラム/劇団俳優座 『猫、獅子になる』俳優座劇場プログラム/ジョンソン&ジャクソン 『どうやらビターソウル』ザ・スズナリプログラム/岩崎企画 『闇にただよう顔』シアター風姿花伝プログラム/KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース 『ライカムで待っとく』神奈川芸術劇場中スタジオプログラム/SPIRAL MOON 『触れただけ』下北沢「劇」小劇場プログラム/小松台東 『左手と右手』下北沢駅前劇場プログラム/劇団アンバサンド 『されど止まらず』あさくさ劇亭プログラム/ラップ屋 『君に贈るゲーム』紀伊國屋ホールプログラム/『玉田企画とゆうめいの「おたのしみセット」』ユーロライブプログラム/二兎社 『歌わせたい男たち』東京芸術劇場シアターイーストプログラム/花組芝居 『鹿鳴館』あうるすぽっとプログラム/『ジャニーズ伝説』帝国劇場プログラム/ミュージカル 『天使にラブ・ソングを シスター・アクト』シアターオーブプログラム/『4000マイルズ 旅立ちの時』シアタークリエイティブプログラム/海宝直人コンサート 『ATTENTION PLEASE!』シアタークリエイティブプログラム/『夜明けの寄り鯨』新国立劇場小劇場プログラム/『Dramatic Musical Collection2022』博品館劇場プログラム/ミュージカル 『映画の都』博品館劇場プログラム/舞台 『イヴの時間』博品館劇場プログラム/APSイツフォーリーズ 『洪水』

の前』恵比寿・エコー劇場プログラム、台本/劇団昴 『クリスマス・キャロル』座・高円寺1プログラム/劇団昴 『ラビットホール』Pit 昴/サイスタジオ大山プログラム/劇団東演 『獅子の見た夢』俳優座劇場プログラム/詩楽劇 『八雲立つ』東京国際フォーラムホールB7プログラム、台本/秦組 『And so this is Xmas』シアターアルファ東京プログラム/OSK日本歌劇団 『近松TRIBUTE 近松門左衛門物語』近鉄アート館プログラム/ OSK日本歌劇団 『DELIGHT』市民いちごホール小ホール (真岡市民会館) プログラム/炎之會 『玉男×満次郎 第一回異身傳心 景清』宝生能楽堂プログラム/ 『第330回歌舞伎公演』国立劇場大劇場プログラム

◆映画資料 『エンドロールのつづき』プレス、ポスター、プログラム

◆映画プログラム (順不同) 『金の国 水の国』 『あつい胸さわぎ』 『離ればなれになっても』 『モリコーネ 映画が恋した音楽家』 『劇場総集編 SSSS. GRIDMAN』 『ノースマン 導かれし復讐者』 『TVシリーズ特別編集版「名探偵コナン 灰原哀物語 黒鉄のミステリートレイン」』 『映画 イチケイのカラス』 『SHE SAID シー・セッド その名を暴け』 『嘘八百 なにわ夢の陣』 『METライブビューイング2021-22』 『METライブビューイング2022-23』

◆演劇雑誌 (順不同) 『Confetti』2023年February/ 『DRAMAかながわ』 87号/ 『KENSYO』 Vol. 127/ 『SePT倶楽部 information』 2022年11月号, 12月号, 2023年1月号/ 『あぜくら』 2023年1月号/ 『えんぶ』 2023年2月号/ 『げき』 25号/ 『つどい』 55号/ 『ほうおう』 2023年3月号/ 『ステージびあ』 2023年1+2月号/ 『テアトロ』 2022年12月臨時増刊号俳優・タレント養成ガイド2023年度版, 2023年2月号/ 『ミュージカル』 2023年1月-2月号/ 『ラ・アルプ』 2023年1月号, 2月号/ 『芸劇BUZZ』 Vol. 42/ 『劇』 昭和4年12月号/ 『劇評』 第10号令和5(2023)年1月/ 『国立演芸場公演ガイド』 令和5年1月号, 2月号/ 『神奈川芸術プレス』 Vol. 160/ 『大向う』 令和5年1月号, 2月号/ 『嶋之亟だより』 62号/ 『日本芸術文化振興会ニュース』 2023年2月号/ 『日本照明家協会誌』 2023年1月号/ 『日本舞踊』 75巻1月号, 2月号/ 『邦楽の友』 令和5年1月号, 2月号

◆映画雑誌 (順不同) 『DOKUSO』 Vol. 1. 8, 9, 12/ 『NFAJ ニューズレター』 19号/ 『NFAJプログラム』 No. 43/ 『SCREEN』 2023年3月号/ 『TVガイド』 2022年12/30-2023年1/9号, 2023年1/13号, 1/20号, 1/27号, 2/3号/ 『おとなのデジタルTVナビ』 2023年3月号/ 『キネマ旬報』 2023年2月上旬号, 2月下旬号キネマ旬報ベスト・テン発表特別号/ 『シナリオ』 2023年2月号, 3月号/ 『シナリオ教室』 2023年2月号/ 『ドラマ』 2023年2月号/ 『ロケーションジャパン』 2023年2月号/ 『映画テレビ技術』 2023年1月号, 2月号/ 『映画時報』 2022年12月号, 2023年1月号/ 『蒲田』 昭和8年2月号別冊附録: 蒲田手帖/ 『月刊ドロキ・ユキコ』 44号/ 『松竹[社報]』 233号/ 『日経エンタテインメント!』 2023年2月号/ 『文化通信ジャーナル』 2023年1月号, 2月号

新規登録資料案内 (順不同)

新しく受入れた資料をご案内いたします

『密使の系譜 日本近代演劇史に絡むジュール・ヴェルヌ「ミハイル・ストロゴフ」をめぐる』 『エンタテインメントを、もっと身近なものに。』 『21日本の人形劇日本人形劇年鑑(2021年版)』 『<戯曲集>紛争地域から生まれた演劇13』 『ENGEKI : Japanese Theatre in the New Millennium 7』 『優秀新人戯曲集 2022』 『せりふの時代2021 特集「ポストコロナを紡ぐ物語」』 『中国現代戯曲集 第10集 孟冰作品集』 『弘一法師 七十九年優良電影劇本』 『悲情城市』 『歌舞伎俳優』 『勘三郎の死 劇場群像と舞台回想 評語集』 『十二代目市川團十郎の世界 家元探訪・妻の思い出・多彩に輝く成田屋』 『歌舞伎俳優名鑑 想い出の名優篇2021』 『かぶき手帖2022年版』 『歌舞伎俳優名鑑 現在の俳優篇2021』 『甦った世界の映画 フランス・イタリア・ドイツ・アメリカ・ロシア・インド・中国・日本+神戸』 『週刊文春エンタ! entertainment 2016 映画はスキャンダルだ』 『山田洋次監督が選んだ日本の名作100本 家族編』 『映画年鑑 2022』 『映画館名簿 2022年版』 『小津映画の遺したもの 築山コレクション特別展示 (第三回)』 『映』

画の匠野村芳太郎』 『=嶺街 (クーリンチェ) 少年殺人事件 楊徳昌的電影吳淡如的小説』 『映画「琉球の風物」に関する一考察 空手関連を中心として』 『年鑑代表シナリオ集' 20』 『英もよう 女形ひとすじ二代目英太郎の生涯』 『追悼 加藤武 一九二九-二〇一五』 『江戸百話』 『浮世絵尽くし 横山実の浮世絵随筆集』 『日本画と歌舞伎の世界 東山魁夷と近代日本の名画』 『花柳茂香舞踊研究 古調のきせき』 『仙田容子振作作品集』 『舞踊家仙田容子写真抄』 『知りたい! 日本の伝統音楽』 『知りたい! 日本の伝統音楽』 『やってみよう プロジェクト 演劇は社会の処方箋』 『文化庁委託事業令和2年度戦略的文化創造推進事業「女子学生たちの沖縄戦」公演と調査による離島・へき地の活性化事業』 『早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点研究成果資料目録 平成26年度-令和元年度』

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和5[2023]年1月にご支援いただきました

法人・団体(50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話でのご確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

当館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせて頂いております。

《現在のご利用について》(※2022年10月3日改定)

- 開館時間 10:00~17:00
- ご来館前日(※休館日を除く)までに、お電話でのご予約をお願い致します。
当日のご利用は、閲覧席に空きがある場合のみ承ります。
松竹大谷図書館 03(5550)1694(平日10時~17時)
- 展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。
- ご利用の際は引き続きマスクの着用と手指の消毒をお願い致します。

《ご予約について》

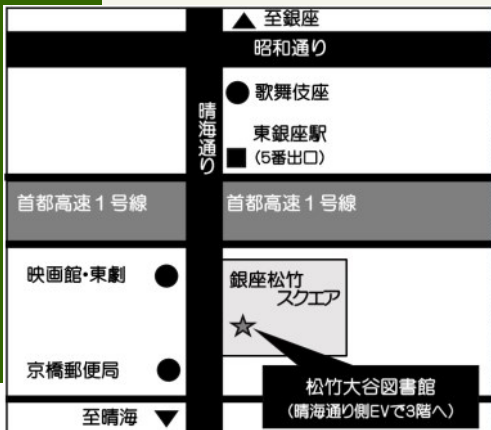
- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でのご予約制になります。
- ★お名前、人数、ご希望日時(○月○日○時より○時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★ご同伴者はお一人までで、出来るだけお一人での来館をお願い致します。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用頂けない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/220606.html>

令和5年3月2日(木)より
春期整理休館のお知らせ

3月15日(水)まで
3月16日(木)より開館いたします



- 利用案内●[開館時間]平日10:00~17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
- [入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担)但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



編集・発行：公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP●<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>
公式Facebook●<https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>